

専門治療のさらなる深化と、沖縄県の国際化を支える医療機関として

脆弱だった県内の民間医療・救急医療体制の改善、命に関わる救急患者を救おうと立ち上がった前理事長、山口栄豊氏の強い理念が結実し昭和52年4月に「牧港中央病院」は開院。

県内初の腎臓移植手術（昭和60年12月）、人工弁移植手術（昭和52年10月）、経皮的冠動脈形成術（PTCA）（昭和56年12月）など、常に最新鋭の医療機器とともに最先端の検査及び診療実績を残してきた。また、循環器疾患に関しては開院以来、24時間救急医療を継続するなど、地域はもとより沖縄県になくてはならない専門病院としての評価を確立させてきた。当初、総合病院に近い形でスタートしたが、時代の変化とともに地域医療ニーズにあわせ、循環器疾患と末期腎不全に対する血液透析治療に特化した病院へ変遷を遂げている。



沿革
昭和54年3月 医療法人博愛会を設立 牧港中央病院開設許可
昭和54年4月 外科、内科、小児科、循環器科、眼科、整形外科
昭和54年6月 内科初、心臓人工弁移植手術 成功
昭和54年9月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
昭和55年2月 診療科目の変更 (外科、内科、循環器科、眼科、整形外科、血管外科)
昭和55年6月 内科初、心臓人工弁移植手術 成功
昭和55年10月 牧港中央病院開院
昭和56年4月 医療法人博愛会 牧港中央病院開院
昭和56年6月 内科初、心臓人工弁移植手術 成功
昭和57年6月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
昭和57年9月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
昭和58年4月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
昭和58年6月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
昭和59年9月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
昭和60年12月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成2年10月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成5年4月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成15年9月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成17年9月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成20年9月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成21年9月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成22年10月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成22年11月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成23年4月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成23年9月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成23年5月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成24年7月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成24年12月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成28年8月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
平成29年9月 心臓手術の中でも難しいといわれる人工弁移植手術。「県内第一号」患者の経過順調を取り上げた新聞報道。昭和52年10月28日付の琉球新報
2 管球搭載CT導入 開院40周年記念式典・祝賀会 開催



院長 心臓血管外科 洲鎌 盛一

徳島大学医学部 卒業
徳島大学医学部附属病院第二外科 研究員 就職
牧港中央病院 就職
日本心臓血管研究振興会附属 植原記念病院
心臓血管外科 研修

昭和61年4月
牧港中央病院 復職
平成22年11月 牧港中央病院 理事長、院長就任

日本血管外科学会・日本外科学会・日本自己輸血学会・
日本胸部外科学会

「現在は、米海軍病院との連携も進み、外国人を対象とした診療・手術も積極的に行つており、全診療の約1割を米国人人が占めています。中国語対応の医療通訳の人材も入職するなど、当院の外国人診療体制は、他病院に比較し格段に充実した内容になってきています。今では、沖縄県の医療ツーリズム関連施設からも大変注目されています」と語るのは洲鎌盛一院長。

「今後、より体への負担の少ない治療法であるTAVIの導入を目指し、病院全体で取り組んでいく。さらに、病院理念である『患者様や家族に信頼され、地域社会に貢献できる質の高い安全な医療の実践』に向け、機器もスタッフもさ



らなる進化を目指したい」と結んだ。

40周年を迎える原点である24時間救急医療体制の継続、沖縄県の本格的な国際化時代を支える専門医療機関としての牧港中央病院に期待したい。



8月23日に開催された40周年記念祝賀会後の院内スタッフでの集合写真



アットホーム、チーム医療。開院以来の牧港中央病院のテーマだ



最新鋭の医療機器による専門治療

手術室に血管造影撮影装置(パイプレーンシネアンギオシステム)および3Dマッピングシステムなどの手術支援周辺機器を高度に統合させた最新のハイブリッド手術室を不整脈・デバイス治療の分野において本邦に先駆けて導入。同手術室は高清浄度環境によりインプラントデバイス治療に関連した感染症リスクを大幅に軽減することが可能で、カテーテルアブレーションやインプラントデバイス治療中の不足な事態への迅速な外科的対応が可能となる。



医療法人 博愛会 牧港中央病院

〒901-2131

沖縄県浦添市字牧港1199番地

☎098-877-0575

許可病床：99床(一般病床53床／療養病床46床)

指定等：自立支援医療指定(腎臓・心臓)、

在宅酸素療法、自己腹膜灌流

診療科目：循環器内科 心臓血管外科 内科

人工透析内科